

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社クレスコ 上場取引所 東
 コード番号 4674 URL <https://www.cresco.co.jp/ja/index.html>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 富永 宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員(氏名) 杉山 和男 (TEL) (03)5769-8011
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,631	10.0	1,978	△11.9	2,440	15.3	1,665	13.5
2023年3月期第2四半期	23,309	10.7	2,245	11.3	2,116	△4.8	1,467	△8.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,481百万円(94.6%) 2023年3月期第2四半期 1,275百万円(△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	80.06	—
2023年3月期第2四半期	69.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,797	25,393	73.0
2023年3月期	33,635	24,449	72.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 25,393百万円 2023年3月期 24,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	27.00	50.00
2024年3月期	—	25.00			
2024年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 記念配当 4円00銭 普通配当 23円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	8.5	5,250	5.0	5,370	4.6	3,582	7.6	174.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	22,000,000株	2023年3月期	23,000,000株
2024年3月期2Q	1,415,868株	2023年3月期	1,929,934株
2024年3月期2Q	20,805,397株	2023年3月期2Q	21,044,095株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2023年5月10日付の取締役会の決議に基づき、2023年9月8日付で自己株式を1,000,000株消却しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更となり、人出が回復するとともにニューノーマルを模索する動きが加速した一方で、円安が再度進行したことにより企業や家計のコスト上昇への警戒感が更に強まってきております。

当社企業グループが属するIT産業においては、生成系AIが企業の人手不足対策や生産性向上に与える影響に注目が集まるとともに、サイバー攻撃に対する脅威がますますクローズアップされ、企業のIT投資意欲は一段と高まっていくものと判断しております。

このような経営環境のもと、当社企業グループは当第2四半期連結累計期間において、主に下記の取組みを行ってまいりました。

組織及び体制等

当社においては、2023年4月より更なる品質強化と業務効率化の促進を目的として、当社の品質管理本部を再編し、品質・プロセス統括本部として改組いたしました。また、デジタルソリューション事業を中心とした当社企業グループの事業拡大のため、当社の営業統括部をビジネスイネーブルメントサービス本部の直下組織といたしました。

また、当社企業グループの財務情報と非財務情報(経営理念、事業内容、価値創造プロセス、サステナビリティ/ESGの取組みなど)を整理し、詳述した「統合報告書2023」を創刊し、当社ホームページに掲載いたしました。

財務

当社は、2023年5月10日付の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式500,000株(取得価額の総額995,644,700円)を市場買付けの方法により取得するとともに、2023年9月8日をもって自己株式1,000,000株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における発行済株式総数は22,000,000株となりました。

事業

当社

デジタルソリューション事業に関して、2023年4月に大手RPAベンダーであるUiPath社の「UiPath Japan Partner Awards 2022」において「Revenue Growth Partner of the Year」を受賞いたしました。7月には、ウィングアーク1st(株)と販売代理店契約を締結し、同社の電子帳票プラットフォーム「invoiceAgent」とUiPathを連携させることで経理業務のペーパーレス化と自動化を実現するソリューションの提供を開始いたしました。

また、AI分野では、社内の業務効率化と顧客への提案内容の高度化を目的として、Microsoft社の「Azure OpenAI Service」を利用した生成系AIチャットサービス「CrePT(クレプト)」を構築し、2023年5月より社員向けの運用を開始いたしました。さらに、6月には当社のAI専門家による「AIエスコート」サービスの提供を開始しております。

クラウド分野では、2023年9月より、CAD等のシステムをテレワーク環境でも快適に操作できるサービスである「GPUSOROBAN リモートワークステーション」の提供を開始いたしました。

セキュリティ分野では、2023年5月より「セキュリティ脆弱性診断」のメニューにペネトレーションテストを追加し、疑似サイバー攻撃を通じた課題の洗い出しを行うサービスの提供を開始いたしました。

資本・業務提携

2023年6月に、当社が資本出資するインド法人Cognavi India Private Limited社が、インド新卒学生向けジョブポータルサイト「Cognavi」をオープンいたしました。

また、2023年9月には、ベトナムのレストラン&リテールテックスタートアップ企業であるCAPICHI PTE. LTD.(本社:シンガポール、以下「CAPICHI社」といいます。)に出資、業務提携契約を締結いたしました。業務提携により、当社はCAPICHI社のQRモバイルオーダーシステム「Capichi OI」の日本国内総代理店となり、観光インバウンド対策を通じて飲食店、小売店、宿泊施設のDX化と外国人顧客の満足度向上に貢献してまいります。

連結子会社

(株)クレスコ・デジタルテクノロジーズが、サブスクリプション型Wi-Fiサービスである「CROSS for Mist」及び製造業向けの「統合BOM管理ソリューション」の提供を発表しております。

その一方で、当社及び一部の連結子会社で新卒社員を積極的に採用したことや、従業員の採用及びリテンション対策として給与水準の引き上げを実施したこと、並びに教育投資を拡大したことに伴い、前年同期に比べて人件費や教育費が増加しております。また、ITサービス事業に関して、当社の複数の大型請負案件について、システム仕様や機能要件、開発体制等に起因する不採算プロジェクトが発生いたしました。

なお、余剰資金の運用に関連して、デリバティブ評価益（営業外収益）を2億66百万円、投資有価証券償還益（特別利益）を1億8百万円計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高256億31百万円（前年同期売上高233億9百万円、10.0%増）、営業利益19億78百万円（前年同期営業利益22億45百万円、11.9%減）、経常利益24億40百万円（前年同期経常利益21億16百万円、15.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16億65百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益14億67百万円、13.5%増）と増収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高（千円）			セグメント損益（千円）		
	前期	当期	前年同期比	前期	当期	前年同期比
エンタープライズ	8,898,734	9,791,706	110.0%	1,107,331	926,966	83.7%
金融	7,172,664	7,027,519	98.0%	864,984	721,059	83.4%
製造	6,221,016	6,786,250	109.1%	990,340	1,100,224	111.1%
ITサービス事業計	22,292,414	23,605,476	105.9%	2,962,656	2,748,250	92.8%
デジタルソリューション事業	1,016,630	2,025,943	199.3%	41,646	90,855	218.2%
合計	23,309,045	25,631,420	110.0%	3,004,303	2,839,106	94.5%

ITサービス事業

売上高は、236億5百万円（前年同期比5.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は27億48百万円（前年同期比7.2%減）となりました。サブセグメント別の状況は、次のとおりであります。

エンタープライズ

売上高は、97億91百万円（前年同期比10.0%増）となりました。これは、主として「情報・通信・広告」「建設・不動産」の両分野において一部の連結子会社の売上が大きく伸びたことによるものであります。

また、セグメント利益（営業利益）は、9億26百万円（前年同期比16.3%減）となりました。これは、主として「人材紹介・人材派遣」「流通サービス」の両分野において不採算プロジェクトが発生したことによるものであります。

金融

売上高は、70億27百万円（前年同期比2.0%減）となりました。これは、「銀行」分野において受注を積み上げることができたものの、「保険」「その他」の両分野において大型案件の取束等の影響で受注が減少したことによるものであります。

また、セグメント利益（営業利益）は、7億21百万円（前年同期比16.6%減）となりました。これは、「保険」「その他」の両分野における売上高の減少に加え、「銀行」分野で不採算プロジェクトが発生したことによるものであります。

製造

売上高は、67億86百万円（前年同期比9.1%増）となりました。これは、主として当社及び一部の連結子会社において「機械・エレクトロニクス」分野での売上高が増加したことによるものであります。

また、セグメント利益（営業利益）は、11億円（前年同期比11.1%増）となりました。これは、上記の売上高の増加と同様の理由によるものであります。

デジタルソリューション事業

売上高は、20億25百万円（前年同期比99.3%増）となりました。これは主として、当社の主力クラウドサービスである「Creage」とRPAライセンスの販売増加によるものであります。

また、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同期比118.2%増）となりました。これは、上記の売上高の増加と同様の理由によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は前連結会計年度末に比べ、11億62百万円増加し、347億97百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ、5億74百万円増加し、230億61百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億円、有価証券が2億99百万円それぞれ減少したものの、仕掛品が5億35百万円、売掛金及び契約資産が4億31百万円、電子記録債権が2億44百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、5億87百万円増加し、117億35百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の「その他」に含まれる繰延税金資産が2億89百万円、のれんが1億11百万円、ソフトウェアが44百万円それぞれ減少したものの、投資有価証券が9億84百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ、2億17百万円増加し、94億3百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、3億65百万円増加し、76億15百万円となりました。これは主に、受注損失引当金が2億87百万円、賞与引当金が66百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1億47百万円減少し、17億88百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が76百万円増加したものの、長期借入金が2億31百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ、9億44百万円増加し、253億93百万円となりました。これは主に、資本剰余金が4億24百万円減少したものの、自己株式が3億17百万円減少し、その他有価証券評価差額金が8億13百万円、利益剰余金が2億35百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年度下期の見通しにつきましては、円安・物価高騰の影響に加えてイスラエル・ガザ紛争という新たなリスク要因が生じておりますが、AIやRPA、セキュリティ等の分野を中心にIT投資の伸長が見込まれるほか、新卒採用者の開発現場への参画が進むことにより、当社企業グループの受注機会は引き続き拡大していくものと予想しております。

当社で発生した複数の不採算プロジェクトに関連して、当第2四半期連結累計期間において、現時点で収集可能なすべての情報と合理的な仮定に基づき受注損失引当金を計上しております。当該プロジェクトについては、未だ不確定な要素を含んでいるため、終結に向けて上位マネジメントによる支援及びモニタリングの強化を実施し、下期への影響を最小限に防ぐよう注力しております。

以上により、2024年3月期通期の連結業績予想については、2023年5月10日に公表した数値から変更を行っておりません。今後の状況や業績動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,027,078	10,726,594
売掛金及び契約資産	8,733,585	9,165,289
電子記録債権	750,833	995,718
有価証券	760,817	461,602
金銭の信託	76,173	90,636
商品及び製品	30,346	47,090
仕掛品	197,589	732,934
貯蔵品	28,420	34,477
その他	882,182	807,331
流動資産合計	22,487,028	23,061,675
固定資産		
有形固定資産	711,051	756,261
無形固定資産		
のれん	1,565,504	1,453,992
ソフトウェア	388,216	343,872
その他	14,629	14,457
無形固定資産合計	1,968,351	1,812,322
投資その他の資産		
投資有価証券	6,210,056	7,194,138
その他	2,365,735	2,080,135
貸倒引当金	△107,209	△107,209
投資その他の資産合計	8,468,582	9,167,064
固定資産合計	11,147,985	11,735,648
資産合計	33,635,013	34,797,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,201,342	2,191,858
短期借入金	130,000	130,000
1年内償還予定の社債	25,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	484,237	470,024
未払法人税等	964,725	927,122
賞与引当金	1,573,923	1,639,934
受注損失引当金	51,415	339,275
その他	1,819,642	1,907,235
流動負債合計	7,250,286	7,615,449
固定負債		
長期借入金	336,938	105,270
社債	50,000	50,000
長期未払金	52,918	52,864
退職給付に係る負債	1,379,644	1,455,823
資産除去債務	112,454	121,878
その他	3,319	2,205
固定負債合計	1,935,274	1,788,042
負債合計	9,185,560	9,403,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,514,875	2,514,875
資本剰余金	3,403,940	2,979,869
利益剰余金	19,105,001	19,340,394
自己株式	△2,150,640	△1,833,385
株主資本合計	22,873,176	23,001,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,488,949	2,302,895
為替換算調整勘定	18,076	27,143
退職給付に係る調整累計額	69,250	62,038
その他の包括利益累計額合計	1,576,276	2,392,077
純資産合計	24,449,452	25,393,831
負債純資産合計	33,635,013	34,797,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	23,309,045	25,631,420
売上原価	18,777,640	20,953,657
売上総利益	4,531,405	4,677,762
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	37,243	46,480
役員報酬及び給料手当	963,001	1,122,241
賞与引当金繰入額	144,092	182,561
退職給付費用	28,918	30,842
法定福利費	144,126	170,348
採用費	88,387	102,237
教育費	96,521	148,595
交際費	30,991	33,868
地代家賃	91,332	94,026
消耗品費	32,620	44,729
事業税	97,051	109,965
その他	531,597	613,716
販売費及び一般管理費合計	2,285,884	2,699,614
営業利益	2,245,520	1,978,147
営業外収益		
受取利息	156,075	137,713
受取配当金	32,644	40,719
有価証券売却益	11,300	5,122
有価証券評価益	210	—
金銭の信託運用益	1,141	14,462
デリバティブ評価益	—	266,100
助成金収入	18,501	15,397
持分法による投資利益	12,920	22,737
その他	57,353	18,538
営業外収益合計	290,146	520,792
営業外費用		
支払利息	2,155	1,438
デリバティブ評価損	372,143	—
為替差損	—	6,815
投資顧問料	43,525	46,999
その他	1,758	3,633
営業外費用合計	419,582	58,887
経常利益	2,116,084	2,440,052

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	3,126	4,854
投資有価証券償還益	46,733	108,001
保険解約返戻金	7,296	4,040
その他	869	—
特別利益合計	58,026	116,896
特別損失		
固定資産除却損	6,970	2,765
投資有価証券売却損	25	759
事務所移転費用	583	1,755
コーポレートロゴ等変更費用	113,803	—
創立記念関連費用	—	7,743
本社改装費用	—	6,800
その他	18,930	2,708
特別損失合計	140,312	22,532
税金等調整前四半期純利益	2,033,797	2,534,416
法人税、住民税及び事業税	634,184	935,142
法人税等調整額	△68,339	△66,353
法人税等合計	565,844	868,788
四半期純利益	1,467,953	1,665,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,467,953	1,665,628

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,467,953	1,665,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204,839	813,945
為替換算調整勘定	13,152	9,067
退職給付に係る調整額	△1,166	△7,211
その他の包括利益合計	△192,853	815,800
四半期包括利益	1,275,099	2,481,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,275,099	2,481,429
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,033,797	2,534,416
減価償却費	132,041	148,894
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△143,080	66,010
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	40	287,859
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	102,579	76,179
受取利息及び受取配当金	△188,719	△178,432
有価証券売却損益 (△は益)	△11,300	△5,122
持分法による投資損益 (△は益)	△12,920	△22,737
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,101	△4,095
投資有価証券償還損益 (△は益)	△46,733	△108,001
デリバティブ評価損益 (△は益)	372,143	△266,100
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	213,669	△675,874
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△104,187	△558,145
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,529	△3,196
未払金の増減額 (△は減少)	△205,733	114,243
長期未払金の増減額 (△は減少)	△23	△53
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△155,988	△82,906
その他	△239,301	4,884
小計	1,754,711	1,327,822
利息及び配当金の受取額	184,986	182,275
利息の支払額	△1,950	△1,438
法人税等の支払額	△922,683	△974,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,015,064	533,972

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
有価証券の取得による支出	△24,175	△9,029
有価証券の売却による収入	32,087	35,603
有形固定資産の取得による支出	△147,431	△117,650
無形固定資産の取得による支出	△48,635	△44,878
投資有価証券の取得による支出	△1,174,515	△549,428
投資有価証券の売却による収入	11,585	174,451
投資有価証券の償還による収入	1,000,159	1,620,265
保険積立金の解約による収入	76,928	12,864
その他	△155,642	△133,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431,439	987,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△387,515	△245,881
リース債務の返済による支出	△1,791	△2,245
配当金の支払額	△504,652	△567,606
自己株式の取得による支出	△204	△998,220
社債の償還による支出	—	△15,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△894,164	△1,828,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,005	5,593
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△307,534	△302,284
現金及び現金同等物の期首残高	11,737,916	10,915,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,430,382	10,613,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、自己株式の市場買付けにより自己株式が995,644千円増加するとともに、自己株式を処分及び消却したことにより自己株式が1,312,986千円減少しております。この結果、単元未満株式の買取りによる自己株式の増加86千円を含め、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は1,833,385千円となっております。また、自己株式の消却に関連して、利益剰余金861,343千円を資本剰余金に振り替えております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	ITサービス事業				デジタル ソリューション 事業	
	エンター プライズ	金融	製造	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,898,734	7,172,664	6,221,016	22,292,414	1,016,630	23,309,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,898,734	7,172,664	6,221,016	22,292,414	1,016,630	23,309,045
セグメント利益	1,107,331	864,984	990,340	2,962,656	41,646	3,004,303

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,004,303
全社費用(注)	△758,782
四半期連結損益計算書の営業利益	2,245,520

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	ITサービス事業				デジタル ソリューション 事業	
	エンター プライズ	金融	製造	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,791,706	7,027,519	6,786,250	23,605,476	2,025,943	25,631,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,791,706	7,027,519	6,786,250	23,605,476	2,025,943	25,631,420
セグメント利益	926,966	721,059	1,100,224	2,748,250	90,855	2,839,106

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,839,106
全社費用(注)	△860,958
四半期連結損益計算書の営業利益	1,978,147

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。